

平成30年度朝霞市学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第五中学校

| 柱 | No. | 評価項目 | 自己評価 | 自己評価の説明及び学校の考え(本校の課題と改善策 ■=課題 ○=改善策) | 関係者評価 | 学校関係者評価者の説明 |
|------------|-----|---|---------|--|---------|---|
| 学校の組織運営 | 1 | 学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 | B (3.3) | <ul style="list-style-type: none"> ■校務分掌等の負担の偏りについて <ul style="list-style-type: none"> ○年度初めの職員会議前と分掌を決める学年会と職員会議の間に企画委員会を開き、分掌の偏り(負担の大きさ、仕事量、時期等)についてより詳細に検討するようにする。 ○駅伝を除き体育祭・合唱コンクール・三送会については実行委員会を設置しています。体育科や音楽科ではなく、実行委員会として企画、運営していく体制を確立するようにする。 ○経験のある先生が担当することは仕事の効率化につながるが、これを優先せず、様々な役割を経験することも大切にしていくようにする。 ○彩夏祭鳴子有志の演舞指導について、地域の指導者を含め、その指導体制を見直し改善していくようにする。 | B (3.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の集計は高い評価であるが、保護者の評価は3であった。 ・課題と改善策が明確に示されている。 ・目標に向かって各先生方が努力していることはいかかえるが、仕事分担を工夫する方により、先生方の経験値が高くなると思う。 ・学習・学力方面に関してはステップアップ教室等の様々な取組から成果は出ていると思う。 ・教育目標に関してはアンケートの結果を見るかぎり、課題はあるものの、穏やかな環境、校風から概ね達成できていると思う。 |
| | 2 | 学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 | B (3.2) | <ul style="list-style-type: none"> ■顧問不在の部活動について <ul style="list-style-type: none"> ○部活動は原則として顧問がついて行われるものだが、顧問の間で協力して指導にあたるという体制について、部員と保護者に理解を求めていくようにする。 ■毎月の安全点検の実施について <ul style="list-style-type: none"> ○毎月の安全点検と自転車点検は継続していきます。 ■内間木地区の生徒の自転車通学について <ul style="list-style-type: none"> ○内間木地区の自転車登校、特認生徒の自転車通学のヘルメット着用については朝霞市も協議しています。 | A (3.5) | <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価での課題が多い。 ・限られた時間の中で、交通安全や不審者対応など、生徒の安全安心に向けた取組がなされている。 ・訓練等の回数は満足ですが、校門・裏口からの出入りが自由すぎる所は不審者対策には対応できていないと思います。 ・教職員用の評価に対しては同意です。 |
| 基礎学力の定着 | 3 | 本校の生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。 | A (3.4) | <ul style="list-style-type: none"> ■支援を要する生徒への学習指導について <ul style="list-style-type: none"> ○支援を要する生徒に対する学習指導のひとつとして、ステップアップ教室に参加しやすいように実施日の設定等について工夫するようにする。 | A (4.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県学力・学習状況調査では、2, 3年生の学力が伸びている。 ・教職員の評価は昨年より高い。 ・授業内容やステップアップ等の工夫・努力の成果は出ているものの、本当に勉強についていけない生徒がステップアップ教室に参加しない、できない点もあるが、改善策も出ているので概ね達成かと思っています。 |
| | 4 | 学校は、学力向上をめざし、生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。 | A (3.6) | <ul style="list-style-type: none"> ■生徒の実態に応じた指導・評価について <ul style="list-style-type: none"> ○平成29年度より朝霞市教育委員会から研究開発指定をうけ「主体的・対話的で深い学びのある学習指導のあり方」について2年間の研究をすすめ、本年度はその成果と課題をまとめ発表することができました。成果のひとつとして、平成30年度埼玉県学力・学習状況調査と全国学力・学習状況調査から平均正答率、学力の伸び等に結びついたりと捉えています。 | A (4.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県学力・学習状況調査の結果で平均正答率が県との比較で高いレベルになっている。 ・各教科を細かく分析し、生徒が理解しやすい授業を展開している。 |
| 規律ある態度の育成 | 5 | 本校の生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。 | B (3.2) | <ul style="list-style-type: none"> ■活動の時刻を守るなどはじめある態度の育成について <ul style="list-style-type: none"> ○教師が必ず授業の開始と終了を必ず守ることが必要だと思います。また、給食や清掃も必ず見守る体制をつくるようにする。 ○置き勉チェックや制服チェック、チャイム着席など生徒による点検活動について、生徒にその意味や価値について考えさせるようにする。 | A (3.5) | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や生徒のアンケートでは、そう思うの割合が高いが、教職員の評価は昨年より減少している。教員と生徒の共通認識が必要だと思う。 ・教職員用の評価・意見に同意。生徒たちは発達段階に応じた規律のある態度だと感じています。 ・いつ見ても制服の乱れ等はなく、登校時間外に歩いている生徒もほぼ見ません。以前に比べると「あいさつ」の教、声量はなくなってきた感じはするが、今の方がちょっといいと思っています。 ・清掃に関しては簡単清掃でも現状のきれいさを維持できているのは普段から汚さないように気をつけているからと感じる。 |
| | 6 | 学校は、生徒の実態把握に基づき「規律ある態度」の指導の工夫改善に努めている。 | B (3.1) | <ul style="list-style-type: none"> ■基本的な生活習慣の定着について <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつや給食、清掃、服装、朝読書等の基本的習慣の定着について、教員の共通理解のもと積極的に指導していくようにする。指導内容によっては学年や学級指導だけでなく、全校生徒を対象に集会等で徹底するようにする。 | A (4.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・五中の伝統である「挨拶」運動が徹底されている。 ・生徒に如何に指導するか色々工夫し、改善している。 ・小規模な学校なので、先生たちが生徒に関する情報を共有できていて、見落とされることがほとんどなく、とてもいいと思います。 |
| 健康・体力向上 | 7 | 本校の生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。 | A (3.4) | <ul style="list-style-type: none"> ■体力向上の手立てについて <ul style="list-style-type: none"> ○夏季期間の午後の服装をジャージにして3年以上経過しているため、その成果と課題を整理して検討する時期にあると考えます。また、体力向上の視点からも見直ししていくようにする。 | B (3.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・新体力テスト結果シートよりほとんどが県平均を下まわっている。 ・休み時間、校庭で体を動かしている生徒は多いと思いますが、制服よりジャージ着用になれば増えると思います。 ・得意、不得意もあるので、個々に自分なりに努力しているのであれば、体力テストの結果はそれほど深刻には感じません。 ・体力、運動能力の向上につとめるならば、小学校時代からの取組も必要だと思います。 |
| | 8 | 学校は、生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。 | B (3.2) | <ul style="list-style-type: none"> ■体力の向上について <ul style="list-style-type: none"> ○体力向上の視点から昼休みの運動について奨励しているところですが、サッカー、バレー、キャッチボール等している生徒の安全確保について体育科と体育委員会でルールの確認をしていくようにする。 | A (3.5) | <ul style="list-style-type: none"> ・体力部会での取組が明確である。 |
| 保護者・地域との連携 | 9 | 学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。 | B (3.2) | <ul style="list-style-type: none"> ■小中連携や地域との連携について <ul style="list-style-type: none"> ○小中連携推進事業の一つとして今年度は朝霞三小6年生とその保護者を対象とした新入生ガイダンスを実施したところ、予想以上の高い評価をいただいたので次年度以降継続して計画していきます。 ○国語の書写指導、社会体験や3年生保育実習、美術鑑賞授業等で地域の方、施設、大学等の連携を継続していきます。 ○3年生の保育実習や美術科の朝霞三小への出前授業等の取組は継続していきます。 | A (4.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・彩夏祭にて五中鳴子チームは好評であった。 ・ふれあいまつりや彩夏祭など多くの生徒が参加していることは地域とつながり大変価値のあるものと思う。 ・新入生ガイダンスの新たな試みについても評価できる。 ・一部の保護者の不満を耳にすると、とても残念な気持ちになります。先生の苦労ははかりきれないものがあると思います。 ・PTAではないからなのか、小学校では全員一役だったのに、中学に入ってから急に離れていってしまう。関心を持つ方が減っています。 ・昔に比べて地域とのつながり、支えあい減少しているように感じる。我が子が大事というのは、今も昔も誰もがそうだと思うが、その大事な子どもが通っている学校に協力しよう。 |
| | 10 | 保護者や地域は、学校と協力しあい、生徒の安全指導、健全育成を推進している。 | B (3.2) | <ul style="list-style-type: none"> ■学校保健委員会の内容と実施時期について <ul style="list-style-type: none"> ○学校保健委員会について養護教諭を中心に内容と実施時期について検討していくようにする。 ■地域と連携した安全指導と健全育成について <ul style="list-style-type: none"> ○朝霞三小合同あいさつ運動を昨年度から実施、今年度も計画通りに実施できました。次年度以降も継続していきます。 ○保護者と学校、警察、青少年健全育成市民会議の協力による敷島神社祭礼・彩夏祭パトロールの実施について、今後も継続していきます。 | A (4.0) | <ul style="list-style-type: none"> ・三小ふれあいまつりでの五中生との参加率が高い。 ・保護者などと連携して生徒の安全に今後も推進してほしい。 ・学校保健委員会の意図をはじめて知りました。認識不足で申し訳ありませんでした。多くの保護者に主旨が伝わったようなアナウンスが必要だと思います。 |

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

()内は、Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満とした全体の数値